



# 歴史文化学専攻

修士課程

二松学舎大学大学院 文学研究科

2026(令和8)年  
4月開設予定

※設置構想中

設置計画は予定であり、  
内容が変更になる  
場合があります

受験生サイト



公式 LINE



公式 Instagram



公式 YouTube



公式SNSで最新情報をチェック!

## □ 歴史文化学専攻の概要

名称	大学院文学研究科修士課程 歴史文化学専攻
定員	8名
学位	修士(歴史文化学)
修業年限	2年

入学金・授業料等	入学金: 250,000円 ※本学出身者は無料 授業料: 520,000円 施設費: 100,000円 ※本学出身者は半額 その他: 11,430円 ※本学出身者は6,430円 合 計: 881,430円
----------	--

## □ 設置の目的・養成する人材像

文学研究科修士課程歴史文化学専攻は、日本史・東アジア史・西洋史・思想文化史の研究を基軸に、国内外の歴史資料・文化遺産の多角的分析を通して、社会の発展と課題解決に寄与する人材を育成します。これにより高度な専門的学識を有する教員・職業人の養成を図り、生涯教育の一環としてより豊かな教養の場を社会に提供するとともに、次世代の文化の担い手として、広い国際的視野と深い洞察力を持ち、歴史文化研究の新たな展開を切り拓く人材を輩出することを目指しています。

## □ カリキュラムの特徴

本専攻では、日本・東アジアおよび西洋の歴史や思想文化の研究を推進し、対象とする諸事象について独自の問題設定を行い、論理的な手続きに則して、創見を提示できる能力を習得させます。また、人文学的領域で「より良き社会を実現する目標を持って、グローバルに活動する」ために、国際的な視野により異文化理解を深め、世界の各文化相互のグローバルな影響関係を追究し、さらには共生社会を構築していくために、歴史文化を深くそして豊かに理解することを目的として教育・研究活動を行います。

## □ 開講予定科目

科目区分	科目名
日本歴史 文化学講座	講義 日本歴史文化学講義Ⅰ～Ⅵ
	演習 日本歴史文化学演習Ⅰ～Ⅵ
東アジア歴史 文化学講座	講義 東アジア歴史文化学講義Ⅰ～Ⅳ
	演習 東アジア歴史文化学演習Ⅰ～Ⅳ
西洋歴史 文化学講座	講義 西洋歴史文化学講義Ⅰ～Ⅳ
	演習 西洋歴史文化学演習Ⅰ～Ⅳ

科目区分	科目名
総合 文化学 講座	講義 日本文化史特殊講義Ⅰ・Ⅱ
	日本芸能史講義Ⅰ・Ⅱ
	日本史料学講義Ⅰ・Ⅱ
演習	日本文化史特殊演習Ⅰ・Ⅱ
	日本芸能史演習Ⅰ・Ⅱ
	日本史料科学演習Ⅰ・Ⅱ

## □ 専修免許について

中学校または高等学校教諭一種免許状を有している学生で、本大学院文学研究科（修士課程）において、有する免許状と同校種・同教科の所定の科目の単位を修得し、修士の学位を取得した学生は、専修免許状を取得することができます。

### ○ 取得できる教員免許状

（専修免許状取得のためには専修免許状と同校種・同教科の一種免許状を有していることが必要です。）

専攻	中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
歴史文化学専攻	○*	○*

\* 教職課程認定申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

## □ 目指す進路等

修了後の進路としては、博士後期課程への進学、専門的学識を有する教員、専門的学識を有する職業人等を想定しています。本専攻では、歴史資料や文化遺産の分析から地域文化研究といった関連分野を横断するカリキュラムを整備しており、歴史教育・文化行政などの分野で活躍できる人材の育成を視野に入れ、教育機関のみならず、文化財保護にかかる各種機関や博物館・文書館などの文化機関においても活躍できる知識とスキルを身につけます。

## □ 奨学金制度

修士課程の学生を対象に、年間授業料の半額相当額を免除する奨学金制度を設けています。1年次の春学期の成績により決定し、年度末の資格継続審査で条件を満たすことで次年度も減免措置が継続され、最大2年間の減免措置が適用されます。

## □ 研究活動支援制度

文学研究科では、有為な研究者育成に資することを目的に、研究活動の支援制度を設けています。

### 学会参加交通費支援

1人につき当該年度1回に限り  
**50,000円を上限として支給**

### 論文掲載料・投稿料支援

1人につき当該年度1回に限り  
**10,000円を上限として支給**

### 画像・図版引用料支援

1人につき当該年度1回に限り  
**10,000円を上限として支給**

### 博士論文出版支援

1人につき1回に限り  
**200,000円を上限として支給**